



校長 齋藤 巨弘

～学校紹介～



本校は昨年、創立50周年を迎えました。この夏には校庭整備工事が完了し、生徒たちは充実した環境のもとで授業や部活動に励んでいます。本校の特徴の一つに、ボランティア

活動「美助っ人（びすけっと）」があります。平成23年度に始まった取組で、ここ2年ほどはコロナ禍により活動実績はありませんが、令和元年度には、町内会や市民センター、児童館の行事等で約20回お手伝いをさせていただきました。ウィズコロナの時代において伝統を受け継ぐべく、今年度は少しずつ活動を再開し、「地域から信頼される学校づくり」に取り組んでいます。

柴田 美千代 父母教師会会長



家庭・学校・地域が協力し合い、全ての生徒が、安心、安全に学校生活を過ごせるよう、日々活動しています。

コロナ禍の今だからこそ、人とのつながりを大切に、無理のない範囲で取り組んでいます。

すばらしい校庭が完成しました

昨年12月頃から大規模な校庭改修工事並びに校舎周辺の整備が着工しました。大雨の影響等から工期が延長しましたが、9月15日無事に終了し、大変立派な校庭が完成しました。

子供たちからは「水はけが良く早く乾くようになった」「雑草等が生えなくなり管理がしやすい」「以前はデコボコでつまづきそうだったがなくなった」「試合のための整備がしやすくなった」等の声が聞こえてきました。

今後の活動に期待を寄せています。

びすけっと ボランティア活動「美助っ人」の活動を再開しました



6月11日(土)、中総体1日目の午前中に「美助っ人」の活動を行いました。

おおよそ3年ぶりとなる今年度の1回目は、学校付近の清掃ボランティアでした。美助っ人の事前の募集・呼び掛けに吹奏楽部・美術部・総合伝統文化部を中心とした約60名の生徒が集まり、学校付近の道路や階段等の清掃活動に力を尽くしました。

9月17日(土)八乙女児童館主催で、小学生を対象に行われた【やおとめwaiwaiひろば】に7名の生徒が「美助っ人」として参加しました。

児童館より「当日は72名の児童が参加し、中学生と接する事が少ない低学年の児童は、お兄さんお姉さんが場を盛り上げながら一緒にゲームをしてくれたので、とても楽しそうに遊んでおりました。高学年の児童は、中学生が来てくれる事を楽しみにしており、憧れの眼差しを向けていました。ご協力ありがとうございました！」とコメントをいただきました。



地域の方々からも、防災訓練では「美助っ人」の中学生が小学生に声をかけながら誘導してくれたり、地域活動へも快く仕事をしてきています。と、感謝の言葉を沢山いただいております。

今後は「四条通りふれあいご縁日」、「地域防災訓練」等に参加を予定しております。

コロナウイルスの感染状況を踏まえて、今後も開かれた学校づくりと地域連携を推進してまいります。

昨年創立50周年を迎え、八乙女中学校の特色でもある

小中連携・地域と共に

より一層歩んでいけたらと思います